埼玉運輸支局バリアフリーネットワーク会議

〔開催概要〕

●日時：平成２５年１２月２日（月）１３：３０～１５：３０
●場所：東松山市　松山市民活動センター ２階大会議室
●委員：高橋　儀平（東洋大学 ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科 教授）～座長
落合　一弘（財団法人 埼玉県老人クラブ連合会）
山根　明　（ＮＰＯ法人 埼玉県障害者協議会）※当日欠席
堀越　雅夫（社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会）
荒井　宏昌（埼玉県立特別支援学校 塙保己一学園(県立盲学校)学校長）（敬称略）
【施設設置管理者等・関係協会】東日本旅客鉄道(株)大宮支社 / 東武鉄道(株) / 西武鉄道(株) /
川越観光自動車(株) / イグチ交通(株) / (一社)埼玉県バス協会 /(一社)埼玉県乗用自動車協会
【関係行政機関等】埼玉県 / さいたま市 / 熊谷市 / 本庄市 / 東松山市 / 深谷市 / 滑川町 / 嵐山町 /
小鹿野町 / 寄居町 / 埼玉県警察本部
【国土交通省】埼玉運輸支局 / 関東運輸局 / 関東地方整備局
●主催：国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局

〔議事次第〕

１．開会
２．主催者挨拶
３．議事
バリアフリー化推進に関する取り組みについて
・バリアフリーの現状と関東運輸局の取り組み
（関東運輸局交通環境部消費者行政・情報課）
・社会資本整備総合交付金（バリアフリー化の支援制度について）
（関東地方整備局企画部広域計画課）
・施設設置管理者等におけるバリアフリー化推進の取り組み
（東武鉄道(株)、川越観光自動車(株)、イグチ交通(株)
(一社)埼玉県バス協会、(一社)埼玉県乗用自動車協会
４．意見交換
５．その他
６．閉会

〔委員の意見〕

・制度があっても知らずにいる場合や忘れてしまっている場合もあるので、こういう会議で改めて確認や、他の自治体の状況等がわかるので、大変良い会議だと思います。
・民間事業者の取組みが重要であると感じた。そのためには行政職員が制度を理解し、使っていくことが重要であると思う。行政機関の先進事例等の照会があれば参考になる。
・塙保己一学園荒井学校長の話は心にしみた。益々ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するとともに心のバリアフリーの必要性を再認識した。
・大変参考になる会議です。もう少し時間に余裕があるともっと参考になるかと思います。
・ハード面でできる対策のほか、人間、ソフト面でできることについてはさらに積極的に取り組むことが可能だと思っております。色々ご意見いただくとともに、多くの方とお話しできれば良いと思っております。
・ＥＶ、ＥＳ、ホームドア等バリアフリー設備導入に補助がありますが、更新費は事業者が負担しています。更新についても補助していただけますようお願いいたします。
・電動カート（シニアカー）の位置付けとシニアカーに乗車したままでのバスへの乗車は車いすと同様に扱うべきなのか。実際には重量がありすぎるため扱いが困難であるが、メーカーでも不透明であり、取扱説明書等には記載が無く、法規制もないため断れない状況である。また、持ち手がないため、支えることもできず危険である。
・交通事業者（国交省の応援など）の努力、大変感動した。また、共生社会が将来的にはこれが我が国の一つの文化、あるいは日本人の慣習となればすばらしいと思います。